

第111回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和8年度第1回薬事審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会	資料2-2
2026（令和8）年4月22日	

**乾燥弱毒生麻しんワクチンの
副反応疑い報告状況について**

○乾燥弱毒生麻しんワクチン

- 商 品 名 : ①「ビケンCAM」
 ②はしか生ワクチン「第一三共」
 ③乾燥弱毒生麻しんワクチン「タケダ」
- 製 造 販 売 業 者 : ①一般財団法人 阪大微生物病研究会
 ②第一三共株式会社（旧 北里第一三共ワクチン株式会社）
 ③武田薬品工業株式会社
- 販 売 開 始 : ①昭和46年6月
 ②昭和62年5月
 ③昭和58年10月
- 効 能 ・ 効 果 : 麻しんの予防

**副反応疑い報告数
（令和7年10月1日から令和7年12月31日報告分まで：報告日での集計）**

令和7年10月1日から令和7年12月31日までの医療機関への納入数量を接種可能のべ人数とし、副反応疑い報告頻度を計算したものは以下のとおり。
 ※報告日での集計のため、以下の件数には接種日や発生日が対象期間以前の症例も含まれている。

（単位：例）

	接種可能のべ人数 (回数)	製造販売業者からの報告		医療機関からの報告	
		報告数 () : 接種日が左記期間内の症例		報告数 () : 接種日が左記期間内の症例	
		報告頻度	報告頻度	うち重篤	
令和7年10月1日 ～令和7年12月31日	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
		-	-	-	
		-	-	-	
(参考) 平成25年4月1日～ 令和7年12月31日	889,506	32	11	4	
		0.0036%	0.0012%	0.0004%	

※有効期間内に麻しんウイルスの力価が承認規格を下回るロットが確認されことを理由に、自主回収が行われ、麻しんワクチンの供給が停止していることから、令和6年1月16日付け感予発 0116第1号厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課長通知 (<https://www.mhlw.go.jp/content/001229710.pdf>) が発出され、代替措置等に関する周知が図られている。

令和7年10月1日から令和7年12月31日報告分の重篤例の転帰

（単位：例）

	製造販売業者からの報告						医療機関からの報告					
	回復/軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計	回復/軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計
重篤例数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（注意点）

※ 副反応疑い報告については、医薬品との因果関係が不明なものを含め、製造販売業者又は医療機関から報告されたものであり、個別に医薬品との関連性を評価したものではありません。

※ 「重篤」とは、死亡、障害、それらに繋がるおそれのあるもの、入院相当以上のものが報告対象とされているが、必ずしも重篤でないものも「重篤」として報告されるケースがある。

※ 非重篤症例には、重篤度が不明の症例も含まれている。

※ 製造販売業者からの報告は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条の10に基づき「重篤」と判断された症例について報告されたものである。なお、製造販売業者からの報告には、医療機関から報告された症例と重複している症例が含まれている可能性があり、重複症例は、医療機関報告として計上している。また、その後の調査等によって、報告対象でないことが確認され、報告が取り下げられた症例が含まれる可能性がある。

※ 製造販売業者からの報告には、複数の製造販売業者から重複して報告されている症例が含まれている可能性がある。

乾燥弱毒生麻しんワクチンの副反応疑い報告状況

平成25年4月1日から令和7年12月31日までの報告数及び症状種類別報告件数は以下のとおり。医療機関からの報告については、報告医が「重篤」としたものを集計した。

2025年12月31日現在

報告数	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告 (企業報告)	平成25年4月～令和7年9月までの医療機関重篤症例と企業報告の総計数	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告 (企業報告)	令和7年10月～令和7年12月までの医療機関重篤症例と企業報告の総計数
報告数	4	32	36			
症状別総件数	6	41	47			
症状名の種類	症状の種類別件数					
一般・全身障害および投与部位の状態						
注射部位内出血		1	1			
注射部位変色		1	1			
発熱	1	3	4			
感染症および寄生虫症						
ワクチン接種後の麻疹		1	1			
亜急性硬化性全脳炎		1	1			
脳炎		3	3			
肺炎		1	1			
麻疹	1	1	2			
無菌性髄膜炎	2	1	3			
肝胆道系障害						
肝障害	1		1			
血液およびリンパ系障害						
血小板減少性紫斑病		1	1			
再生不良性貧血		1	1			
汎血球減少症		1	1			
血管障害						
内出血		1	1			
耳および迷路障害						
突発性難聴		1	1			
難聴		1	1			
傷害、中毒および処置合併症						
歯肉損傷		2	2			
神経系障害						
ギラン・バレー症候群		2	2			
ジスキネジア		1	1			
意識消失		1	1			
脳症	1	1	2			
痙攣発作		4	4			
妊娠、産褥および周産期の状態						
切迫流産		1	1			
胎児死亡		1	1			
絨毛膜下血腫		1	1			
皮膚および皮下組織障害						
黄色皮膚		1	1			
発疹		1	1			
免疫系障害						
アナフィラキシー反応		6	6			

乾燥弱毒生麻しんワクチンの副反応疑い報告状況

予防接種後副反応疑い報告書の別紙様式1の報告基準に記載のある症状（「その他の反応」は除く）について、報告状況をもとに集計を行った。

2025年12月31日現在

	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告(企業報告)	平成25年4月～令和7年9月までの医療機関重篤症例と企業報告の総計数	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告(企業報告)	令和7年10月～令和7年12月までの医療機関重篤症例と企業報告の総計数
アナフィラキシー*1		6	6			
急性散在性脳脊髄炎(ADEM)*2						
脳炎・脳症*3	1	5	6			
けいれん*4		4	4			
血小板減少性紫斑病*5		1	1			

*1 アナフィラキシーショック、アナフィラキシー反応、アナフィラキシー様ショック、アナフィラキシー様反応

*2 急性散在性脳脊髄炎

*3 脳炎、脳症、ムンプス脳炎、自己免疫性脳炎、低酸素性虚血性脳症、亜急性硬化性全脳炎、ラスマッセン脳炎、急性出血性白質脳炎、難治型部分発作重積型急性脳炎

*4 間代性痙攣、強直性痙攣、小児痙攣、新生児痙攣、全身性強直性間代性発作、熱性痙攣、片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群、痙攣発作

*5 血小板減少性紫斑病、血栓性血小板減少性紫斑病